

Weekly Report

(2013年11月第3週)

光世証券株式会社

株式市場概況

● 先週 (11/4 - 11/8) の動き

木曜日までは米国の金融緩和の長期化見通しから、株価はじり高展開となっていた。木曜日の夜に、ECB 理事会において予想外に 0.25% の政策金利の引き下げ (政策金利 0.5% → 0.25%) が決定されたことから、一時的に円安、株高の動きとなった。しかし、その後発表された米国の GDP が予想より良い内容となり、FED が早期に金融緩和縮小を行う可能性が高まったと認識され、相場の展開は一転して円高、株安の動きとなった。ドル円は一時 98 円を割込み、CME で取引されている日経平均先物では安値 1 万 3,890 円をつける場面もあった。しかし、金曜日のザラ場の取引では 1 万 4,000 円を割込むことはなく、日経平均は前週末比 -0.81% の 1 万 4,086 円で一週間の取引を終えた。

業種別ではその他製造が上昇トップとなった。それほど決算の良くなかった任天堂株がリバウンドしたことや、バンダイナムコの決算が好調だったことが要因となった。ゴム、繊維などがそれに続いた。下落トップは輸送用機器となった。主要企業の決算の通期見通しが市場予想を下回ったことから売りの勢いが増した。その他には小売、電力、不動産など内需関連が並んだ。スタイルインデックスは TOPIX スモールやマザーズ指数など小型株指数が比較的堅調で、TOPIX コア 30 が弱かった。

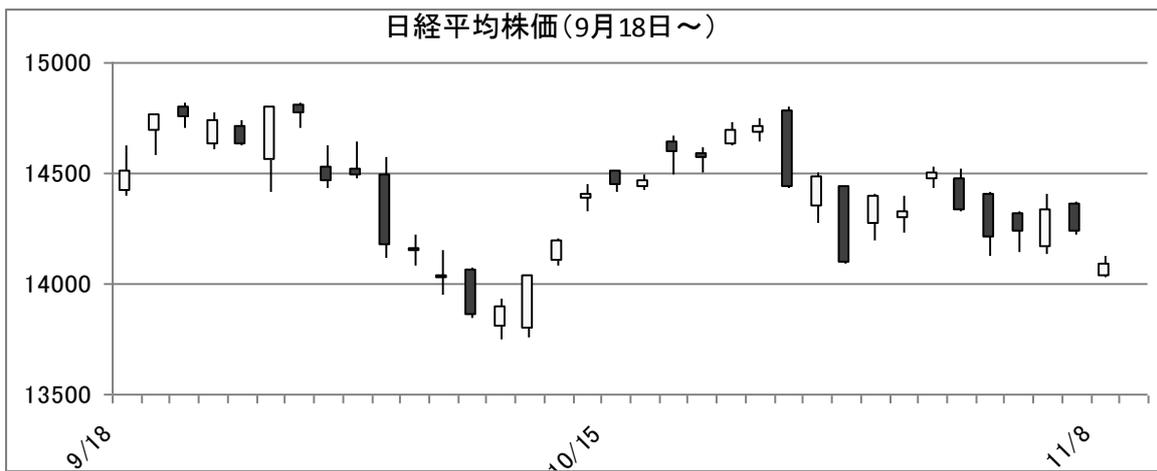
米国の GDP (3Q・年率前期比) は 2.8% (予想 2%・前回 2.5%) と予想を上回った。ISM 製造業景況指数 (10 月) は 56.4 (予 55・前 56.2)、ISM 非製造業景況指数 (10 月) は 55.4 (予 54・前 54.4) と共に予想、前回は上回った。これらの経済指標は全て前回、予想を上回っているが、GDP では個人消費の減少と在庫の増加、ISM では新規受注の低下と雇用の増加と、共に明確に経済が成長しているとは言い難い内容となっていた。

セクター動向(先週末比)				各種国内株式指数動向(先週末比)			
その他製品	3.43%	輸送用機器	-2.22%	東証2部	0.16%	TOPIX	-0.56%
ゴム製品	2.69%	小売業	-2.11%	TOPIXL70	-0.01%	TOPIXグロース	-0.58%
繊維製品	2.43%	電気ガス	-1.53%	TOPIXスモール	-0.04%	日経平均株価	-0.81%
石油石炭	2.22%	不動産業	-1.31%	マザーズ	-0.24%	コア30	-1.11%
海運	2.10%	保険	-1.25%	ミッド400	-0.48%	REIT指数	-2.70%
医薬品	1.41%	陸運	-1.21%	TOPIXバリュー	-0.54%		

今後の注目材料

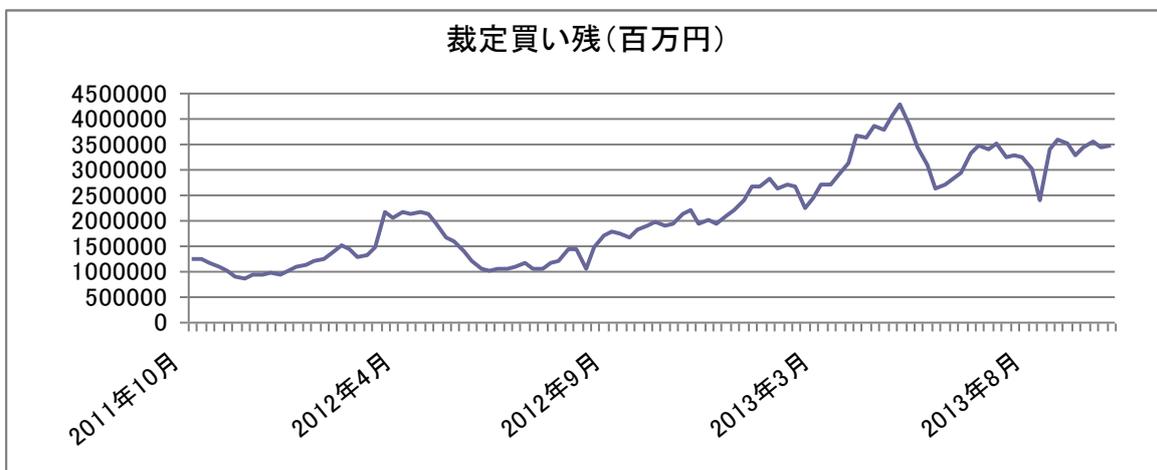
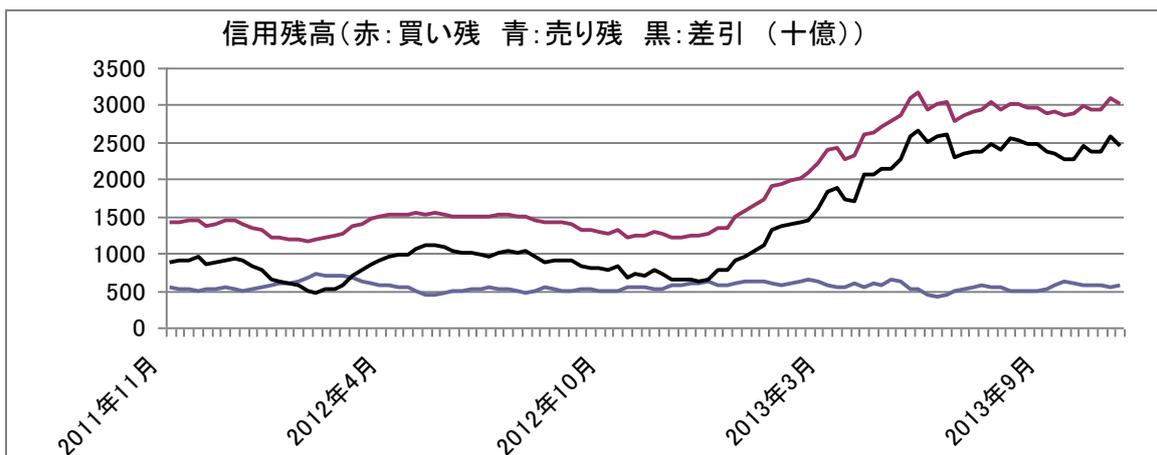
週末に発表される雇用統計の値に注目が集まる。非農業部門雇用者数の市場予想は +12 万、失業率の予想は 7.3% となっている。これらの値が予想を上回れば、金融政策が引き締めに向かうのが早くなると認識され、株式が売られやすい環境になる。

景気の好転が株式市場で素直に好感されるようになるのは、FED による資産買付けが縮小されてからではないか。それまでは、金融緩和政策の維持が好まれる市場環境が続くだろう。



需給動向 (前週分)

投資主体別売買動向は個人が2週ぶりに売り越し、海外投資家、信託銀行、投資信託が売り越した。裁定買い残高は増加。信用買い残高は減少した。



	自己	委託	法人	投資信託	信託銀行	個人	海外投資家
2013/11/1	-6.26	27.47	19.93	9.79	28.86	-222.17	227.77
2013/10/25	19.51	-8.71	-108.73	-15.93	-96.60	122.92	-24.22
2013/10/18	79.60	-40.98	16.71	-2.43	-7.22	-318.10	266.59
2013/10/11	-254.36	249.97	169.62	101.11	37.90	-149.54	235.94
2013/10/4	-172.50	130.52	-44.44	19.39	-84.18	177.26	-11.08
2013/9/27	-20.05	30.85	-119.04	14.62	-110.96	-94.72	253.76
2013/9/20	210.82	-206.85	-76.31	10.92	11.33	-407.24	289.06

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号
加入協会／日本証券業協会